

楽しく学べるアイデア集**【1】手品****⇔ EXERCISES V**

「どちら」を導入するときに活用できる簡単なゲーム。

①手品師役の生徒が、おはじきなどの小さい物を、右手が左手に握り、他の生徒たちに両こぶしを見せて、「みぎ手と ひだり手と どちら？」とたずねる(このとき、右と左の混乱を招かないように、他の生徒たちに背中を向けて、両こぶしを見せるようにする。)

②見ている他の生徒たちは、手品師が何かを持っている方の手を、「みぎ手」、「ひだり手」と言い当てる。

- * ほかに、二つの箱のうち、中に物が入っている方を当てるとか、裏向きの二枚の紙のうち、絵が描いてある方を当てるとか、いろいろな方式で、同様のゲームができる。
- * 手品師役の生徒は、みんなが見ている前で、小さい物を握ったり、箱に物を入れたり、紙に絵を描いたりして、みんながそちらだと思ったのとは、ちがう方が正解になるように上手に演じる。

【2】えらびましょう**⇔ TASK 18**

TASK 18と同様に、さまざまな物について、二種あるいは三種の実物、写真、イラストなどを用意し、日本語で質問をしながら、各自いちばんよいと思う物を選んでいく。